

平成 20 年度
大学体育指導者中央研修会
開催要項

<http://www.daitairen.or.jp>

テ ー マ：山を歩く－大学体育の多様性と豊かさを実現する場として－

目 的： 現代社会では、メタボリックシンドロームという概念が広まり、生活習慣病の予防として運動の重要性が強く認識されるようになってきました。しかしながら、健康のために効果的な運動の種類や量、実施方法などを理解することよりもスポーツ・運動そのものの喜びや意義があつてこそ、人は運動に参加し、継続することができるのではないのでしょうか。その意味では、豊かなスポーツを楽しむことのできる学生を育てることが、大学体育の重要な使命だと言えます。

山歩きは、健康のための運動としても十分な強度と量を提供できることはもちろんですが、山を取り巻く自然環境は変化に富み、人々にいろいろな楽しみ方を許容することが大きな特長です。山の景色や森の香気、高山植物の美しさを味わい、地形や気象の変化を読み取り、その地域の歴史や文化に直に触れるうちに、おのずから体力がついて健康になる。山歩きは、多様で豊かな楽しみ方を実現できる最高の場だと思われます。

立山という恵まれた環境ならではの面もありますが、参加される方々がそれぞれの地域で山の楽しみ方を見つける手掛かりになればと願い、今回のプログラムを用意いたしました。まずは、自ら山を楽しみ、豊かさを味わってください。

開催期日： 2008 年 8 月 19 日（火）～21 日（木）

開催会場（メイン）： 立山国際ホテル

実 技 研 修 会 場： 立山（雄山）・室堂・弥陀ヶ原周辺

宿 泊 先： 立山国際ホテル

〒930-1454 富山県 富山市 原 45

電話：076-481-1111

FAX：076-481-1118

主 催：（社）全国大学体育連合

後 援：文部科学省（申請中）

富山市

（社）日本山岳会富山支部

主 管：（社）全国大学体育連合北陸支部

プ ロ グ ラ ム

- | | |
|---|-----------------------|
| 1. 講演Ⅰ「タイトル：未定」 | 講師：未定（文部科学省） |
| 2. 講演Ⅱ「立山信仰の歴史と立山曼荼羅」 | 講師：福江 充 氏（立山博物館学芸員） |
| 3. 講演Ⅲ「立山の自然と歴史」 | 講師：渋谷 茂 氏（立山自然保護センター） |
| 4. 実技指導研修（雨天決行予定：ただし、状況によってコース内容の変更もあり得ます。） | |

(1) 弥陀ヶ原→室堂平コース (定員：2 組計 20 人)

①講師：近藤 晋 氏 (富山県ナチュラリスト・(社)日本山岳会富山支部監事)

②講師：高木 美奈子 氏 (富山県ナチュラリスト)

【コース(1)紹介】室堂平は、気軽に散策できるコースが整備されています。夏にはチングルマやタテヤマリンドウ、シナノキンバイなどの高山植物が咲き乱れ、室堂平は華やかに彩られます。

周囲 412m、神々の飲食物を調理する台所という意味で、御厨舎:「みくりや」の名があるミクリガ池は、紺碧色の湖面をたたえています。地獄の様を連想させる地獄谷は、有毒な火山ガスを噴出しています。日本最古の山小屋「立山室堂」など立山信仰の歴史変化にとんだ景観が楽しめます。

(2) 室堂→一の谷→弥陀ヶ原コース (定員：2 組計 20 人) (コース(3)を下ります)

①講師：渋谷 茂 氏 (富山県ナチュラリスト・日本山岳会会員)

②講師：藤島 牧子 氏 (富山県ナチュラリスト)

(3) 弥陀ヶ原→一の谷→室堂コース (定員：2 組計 20 人) (上り)

①講師：高橋 敬市 氏 (写真家)

②講師：谷村 正則 氏 (富山県ナチュラリスト・(社)日本山岳会富山支部監事)

【コース(2)・(3)紹介】このコースは立山登拝の旧登山道です。「ガキ田」と呼ばれる池塘(ちとう)が点在する広大な弥陀ヶ原高原から、一ノ谷を通り、その昔、修験者の行場とされた獅子ヶ鼻の鎖場の難所を注意して通過します。獅子ヶ鼻平に出れば見晴らしのいい登山道になります。

しばらくすると雄大な立山連峰の姿が見え始めます。木道が整備されていて、大日連峰の雄姿を眺めながら色とりどりの高山植物に愛でるコースです。地獄谷を経由して室堂平に出ます。室堂平から来るとほとんど下り道です。

(4) 立山(雄山)登山コース (2 組計 10 人)

①講師：木戸 繁良 氏 ((社)日本山岳会富山支部前支部長)

②講師：道正 政信 氏 (富山県山岳連盟山岳指導員・(社)日本山岳会富山支部監事)

【コース(4)紹介】立山は富士山、白山とともに日本三霊山の一つです。室堂平から平素の行いを反省しながら懺悔坂を登ります。

昔は、祓堂に着くと堂前の祓川の清流で身を清めて立山の聖域に登りました。一ノ越に到着すれば槍ヶ岳、笠ヶ岳の名だたる北アルプスの秀峰が眺望できます。立山はその山体を阿弥陀如来の姿として、一ノ越は仏の膝、二ノ越は腰、三ノ越は肩、四ノ越は頸、五ノ越は仏頭、そして山頂は烏瑟とされます。霊山立山の首座は雄山 3,003m、山頂に雄山神社峰本社があります。

※コース (1) ~ (4) は難易度の低い順に掲載してあります。

※いずれのコースも登山初心者であっても講師の指導のもと安心して歩くことができます。

※ホテルから各研修コースの出発地点までの移動、ならびに研修場所からの帰路は、立山ケーブル・高原バスを利用します。尚、研修コース(1)、弥陀ヶ原から室堂平への移動は高原バスを利用します。

(5) 研修三日目：美女平・山岳文化・称名滝コース

【コース(5)紹介】

①美女平コース (30 人)

立山駅よりケーブルに乗り、7 分で美女平に到着します。美女平は立山杉の巨木、バードウォッチング、森林浴など自然観察に適した場所です。

②山岳文化コース (20 人)

平成 3 年 11 月に開館した立山博物館で研修します。この施設が建つ立山町芦峯寺は立山山岳信仰の拠点として栄えた場所であり多くの史跡・民族文化財が残されています。

③称名滝コース (20 人)

国指定の名勝天然記念物に指定されている称名滝を巡ります。自然環境に目を向け、自然と環境の調和について研修します。

5. 研究協議：実技研修班別に意見の交換をします。

6. 情報交換会：各大学の教育・研究状況などについて意見を交換します。

募集要項

募集対象 大学または短期大学の健康・スポーツ関連科目担当教員及び関連領域大学院生
(但し、大学院生は会員の推薦を要件とする)

募集人員 70名

宿舎、講演等会場 立山国際ホテル

実技会場 立山(雄山)・室堂・弥陀ヶ原周辺

集合日時及び場所 8月19日(火)14:00までに立山国際ホテルにご集合ください。
(昼食は済ませてお集まり下さい)

参加費 一般:40,000円(研修費10,000円、宿泊費30,000円)。

院生:35,000円(研修費5,000円、宿泊費:30,000円)

申し込み方法 参加費を下記指定口座へ振り込み、参加申込書と返信用ハガキ(返信先住所を記載してください。
本人宛参加決定通知用)を下記事務局へ郵送してください。大学へ通知を必要とする場合は、更
にもう1枚の返信用ハガキを同封してください。

申込先(平成20年度中央研修会事務局) 〒930-8555 富山県富山市五福3190

富山大学 人間発達科学部 水谷 秀樹 宛

お問合せ先 担当:水谷 秀樹(ミズタニ ヒデキ) E-mail mizutani@edu.u-toyama.ac.jp
TEL/FAX 076-445-6331(直通)

振込先 1. 銀行名:北陸銀行 太閤山出張所

2. 口座:普通預金

3. 口座番号:5066500

4. 口座名義:社団法人全国大学体育連合20年度中央研修会

注:依頼人の欄には個人名の後に所属をご記入ください(法人名は省略)。

例) 名前:立山太郎

所属:学校法人〇〇学園 立山大学の場合 → 立山太郎 立山大学

申込期限 平成20年7月18日(金)(消印有効)

参加可否の決定 返信用ハガキにて本人宛にお知らせします。なお、定員オーバー等で参加ができなかった場合
には返金いたしますので、申込用紙の返金先欄に返金先金融口座を必ず明記してください。

注意

1. 参加について

①全日程参加を原則とします。したがって、中途での変更に対する返金はいたしません。あらかじめご了承ください。

②2日目(20日)の研修コースについて、各自参加ご希望コースを第1希望から第4希望までお知らせ下さい。

③3日目(21日)の研修コースについても各自参加ご希望コースを第1希望から第3希望までお知らせ下さい。

※それぞれのコースには定員がございます。先着順のため、ご希望のコースが定員に達した場合、次の希望
コースにお入りいただくことをご了承下さい。

2. 留意事項 雨天決行予定

持ち物・服装は下記を参考に各自ご準備ください。

3. 持ち物

【必需品】・行動食(※歩きながら口にできる飴、チョコレート、カロリーメイト等) ・水筒 ・サングラス
・雨具(ポンチョ式不可、上下別の防水機能を備えた物が望ましい。) ・帽子 ・手袋(軍手可)
・防寒具(フリース等:雨天時には気温が下がります。) ・日焼け止め・常備薬
・ビニール袋(用途:ゴミ袋、防水用(リュックの中身が濡れるのを防ぐ) ・保険証

【推奨品】・筆記用具 ・双眼鏡 ・ルーペ

・デジタルカメラ(各コースには美しい高山植物も多く、また北アルプスの雄大な景観からも携行する
ことをお勧めします。)

4. 服装:トレッキングに適した服装(雨天時には気温が下がります。長袖シャツ・長ズボンが望ましい。)

5. 靴:コースの状況から比較的靴底が厚いトレッキングシューズが適当です。

※ 尚、持ち物・服装・研修コースの様子は「立山黒部アルペンルート ホームページ」
(<http://www.alpen-route.com/>)からも確認できますので、ご覧下さい。

目 程 表

	8/19(火)	8/20(水)	8/21(木)
朝		朝食(6:00～)	朝食(6:00～)
午前		8:00～8:30 コース別ガイダンス 8:30 ホテル発(班毎に移動) 実技指導研修会Ⅰ (10:00～15:00) ①弥陀ヶ原→室堂平コース (2組:20人) ②室堂平→一の谷→弥陀ヶ原 コース:下り (2組:20人) ③弥陀ヶ原→一の谷→室堂 コース:上り (2組:20人) ④立山(雄山)登山コース (2組:10人)	8:00～8:30 コース別ガイダンス 8:30 ホテル発(班毎に移動) 実技指導研修会Ⅲ (8:30～11:30) ①美女平コース(30人) ②山岳文化コース(20人) ③称名滝コース(20人) 閉会式(12:30～12:50)
昼		昼食(弁当を準備します)	昼食
午後	開会式(14:00～14:20) 講演Ⅰ(14:30～15:30) 文部科学省 「タイトル:未定」 講演Ⅱ(15:40～16:40) 「立山信仰の歴史と立山曼荼羅」 講師:福江 充 氏 講演Ⅲ(16:50～17:20) 「立山の自然と歴史」 講師:渋谷 茂 氏	実技指導研修会Ⅱ ①弥陀ヶ原→室堂平コース (2組:20人) ②室堂平→一の谷→弥陀ヶ原 コース:下り (2組:20人) ③弥陀ヶ原→一の谷→室堂 コース:上り (2組:20人) ④立山(雄山)登山コース (2組:10人)	(支部長会議)
夜	情報交換会(18:30～20:30)	実技研修コース別分科会 (20:00～21:00)	

アクセス（立山国際ホテル ホームページ <http://www.tatekoku.com/>も参照ください。）

※地鉄富山駅→地鉄立山駅✓1時間

※地鉄立山駅→ホテル／車で6分

※富山空港→ホテル／車で40分

※北陸自動車道富山 I.C.→ホテル／車で 40 分

※北陸自動車道立山 I.C.→ホテル／車で 30 分

※JR 富山駅→ホテル／車で 50 分

【無料送迎バスのご案内】（行き：①・②・③、帰り：④）

①8/19 JR 富山駅北口 11:15 発→ホテル (12:00 着予定)

②8/19 JR 富山駅北口 11:30 発→富山空港 (12:00 頃着) 経由→ホテル (13:00 着予定)

※研修会参加者専用バスとしての臨時便です。

③地鉄立山駅→ホテル

※地鉄立山駅到着後、ホテルに連絡を入れて下さい（1時間に1本）。

④8/21 ホテル 14:00 発→富山空港経由→富山駅北口 (富山駅北口着 15:30 予定)。